

令和2年度 西糀谷しろはと保育園 事業報告

1. 概要

①運営報告

- 大田区では新型コロナウイルス感染症の為登園自粛となり、6月末までの登園率は30%程度でした。感染症対策としてマスクの配布とともに、国からの補助金を利用し衛生面に配慮した保育対策を講じました。
- 東京都の木育事業を継続し、子どもたちが木や森林への理解が深まり、身近な存在として感じられるように計画をしていましたが自粛終了後、感染に気を付けながら実施しました。
- 職員の働き方改革関連法が施行され、当園でも遵守し見直して人材の定着に努めるとともに、常勤非常勤などの働き方を改善し離職防止に努め、令和2年度よりICTを活用し、保育事務の効率化を図りました。
- 職員の質の向上を目指し、研修への参加や園内研修の計画を立てていましたが、参加方法が変わり、リモート研修に変更になりました。
キャリアアップ研修についても、大田区で実施することとなり、近距離の場所で研修を受けることができました。

①定 員 129名

②事業日数 295日（年末保育の12月29日、30日を含む）

③開園時間 月曜日～土曜日 7時15分から20時15分
年末保育期間 7時30分から18時30分

④保育時間 早朝保育 7時15分から 8時30分
通常保育 8時30分から18時15分
延長保育 18時15分から20時15分

⑤職員数 園長 1名、主任保育士 1名、保育士 19名
パート保育補助 7名、看護師 1名、嘱託医（内科医1名 歯科医1名）

2. 保育運営

①保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、学び合う子ども社会の中で、成長することが望ましいと考えます。
- 私たちは、子どもの個性、人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

②保育方針

- 子どもたちが生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を十分発揮し人として「生きる力」を育む
- 働く保護者と信頼関係を築き、安心して預けられる保育の場を提供する
- 地域における子育て支援のため、保育に関する相談や助言の役割を果たす

③保育目標

1. 心身ともに、健康な子
2. 友だちと助け合える子
3. 失敗を恐れず、いろいろなことにチャレンジできる子
4. 優しさのある子

④クラス編成及び職員配置

0歳児	おたまじゃくし組	12名	保育士4名	看護師1名
1歳児	めだか組	18名	保育士4名	
2歳児	かに組	24名	保育士4名	
3歳児	かえる組	25名	保育士2名	
4歳児	とびうお組	25名	保育士2名(非常勤1名)	
5歳児	くじら組	25名	保育士2名	
主任保育士1名				
障害児担当加配保育士 1名(有資格者・パート)				
産休職員分派遣保育士1名				
早朝・延長保育担当保育補助9名				
園児		計129名	保育士	29名

⑤保育内容

- 子どもの姿を捉えた環境構成や援助の仕方など、小グループでの保育を行いました。また、保育指針を基に一人一人の育ちを考慮した養護と教育が一体となった保育を確立しています。
- 異年齢交流や世代間交流は、感染症対策の為に中止にしました。
- 子どもたちの体力とコミュニケーション能力の向上のため安田式運動遊具を使った運動遊びと外部講師による週1回の体育遊びを緊急事態宣言中は中止とし、その後少人数で実施しました。
- 子どもの表現力を豊かにする造形遊びと木育活動については、緊急事態宣言期間中を除き実施しました。
- 食育計画に基づき、給食委託業者と連携を図り、子どもの食への興味や関心を深めるように食育活動として『見る・触れる』等の実体験を中心とした野菜の栽培やクッキングについては、衛生面を考えながら、活動を実施しました。
- 保育指針や保育業務マニュアルを基に子どもの人権尊重と最善の利益について職員で確認し

ながら保育内容を見直し、子どもが健康で安全で情緒の安定した生活ができる環境づくりを進めました。

⑥家庭との連携

- 春の保護者会や個人面談は中止としました。保護者会で指導している0歳児クラスの食事の進め方が家庭でもできるように、離乳食の指導を文書で個別に郵送して知らせました。また、自粛期間中は、園だよりやクラスだよりは郵送し、お知らせや安全状況の確認などはメールや電話などを使って家庭状況を確認するように心がけてきました。
- 自粛期間中の家庭での事故などについては病院や児童相談所と連携、報告した上で子ども家庭支援センターへも報告するような体制にしました。
- 子どもの日々の活動内容を毎日部屋前に掲示していましたが、完全には周知できておらず、掲示物を見る時に密になることがあるため、1月よりメルポコで伝えるように変更すると、周知できる率があがりました。今後もメルポコを活用していく予定です。
- 秋のクラス保護者会は、生活発表会とともに4歳児、5歳児のみ短時間で実施し、その他のクラスはオンラインで保護者会を実施しました。その際子どもの好きな手遊びやわらべ歌遊びを交えて発信するとともに、健康教育についても保護者向けに伝えました。わらべうたは家庭で子どもと一緒に何度でも見られること、職員を動画で見られることで保護者や子どもにとっては身近に感じられ、再生回数が200回以上になることもありました。また、個人面談はや保育参観は中止としました。
- 保護者からの要望や意見は、行事や保護者会の後に必ずアンケートを取り、結果を保護者にフィードバックし、さらに年間の利用者アンケートを実施しました。すべてを縮小しながらも、子どもにとって必要な経験を計画したことで保護者からの意見は好評でした。
- 保護者にも危機管理の意識を高めてもらう為に、保護者と共に4月に防災や減災について研修を実施予定でしたが、コロナ禍で中止としました。新たに、感染症についての園の対応方法や区としての考えなどを文書で伝えて協力依頼をしました。また、保護者参加の行事を実施する場合は、必ず数日前からの検温や当日の検温、消毒に心がけて実施しました。

⑦地域の実態に対応した事業

- 子育て支援「よちよちタイム」は中止としましたが、ホームページや掲示板を活用し、わらべ歌や看護師による健康教育などで地域に発信しました。また、次年度入園の為に園見学については、子どもの少ない土曜日に実施し、人数を制限しながら1日に2回実施したところ、合計72名の参加がありました。お年寄りとの交流や、毎年行うベビーマッサージ、コンサートなどは中止としました。
- 近隣の公立保育園との三園交流、保幼小連携、小学校との交流は中止となりましたが、保育要録や就学支援シートなどについては、学校と直接連絡を取り子どもの状況を確認していききました。
- 夏祭りは、地域や保護者は不参加とし、園内で実施しました。

地域の社会資源との連携

- 年度前半の保育実習は、中止となりましたが、後半は5名の実習生とオリエンテーションだけの実施1名の感染症対策を行いながら受け入れることができました。
- 地域小中学校と交流（職場体験中止、学校訪問中止、）を定期的に行っていますが、今年度はすべて中止となりました。そこで子どもたちの好きな絵本の紹介、手遊びなどをホームページで知らせました。災害時の対応（避難場所の提供など）について地域地域会議が一度実施されました。
- 地域行政、民生委員、保健師との連携は、中止となりました。

⑧小学校との連携

- コロナ禍の中で不登校の生徒が増えていることは情報としてありましたが、卒園児の中でも学校に行かない子どもがいて、小学校より相談の電話があるほどでした。
- 保幼小連絡協議会での意見交換や情報交換、就学支援シート、保育要録を通じて園児の引継ぎについては、例年と違い各園で各小学校と対応し情報交換をしていきました。また、小学校の授業参観や展覧会、発表会などへの参加などを通しての交流はすべて中止となり、入学式への参加もなくなりました。

⑨人材育成

- 大田区の実践力強化研修や乳児保育、障害児保育、公開保育などへの参加とともにキャリアアップの研修を意識した個別の研修計画を策定し、日常保育に必要な課題を設けて基本的な知識や技術の向上を図るようにしましたが、コロナの影響で実施研修が少なくなり、キャリアアップ研修は6名が参加しました。
- 保育所保育指針を元に子どもの発達過程を確認し、1回の自己評価を実施し保育の見直しを行いました。また、「大田の保育」のマニュアルを見て各年齢の保育の基礎を確認していきました。
- 職員全体が保育に対する意識を共有し進めていくことができるように定期的なリーダー会を開催し、保育内容の統一を図るように計画しましたが行事や日常の保育の見直しの為の打ち合わせに時間を多く取られました。危機管理研修、安田式遊具の運動遊び、支援の必要な子どもへのかかわり方、遊びを通した子どもの発達などの研修はWEB研修を実施していきました。
- 看護師の年間計画を基に、感染症やAEDの使用方法について定期的に訓練します。また、救急救命2級の更新に向けて消防署に依頼し、講演と実施訓練を予定していましたが、密を避けるために消防署の計画が中止とされました。
- 乳児を中心とした保護者への食事指導や離乳食指導については、非常勤職員が栄養士資格を持っていることでそれを活用して職員や保護者への0歳児の食事の指導を実施しました。

⑩苦情処理

- 第三者委員2名を設置し、委員の所属、連絡先を記入したポスターの掲示を行い保護者からの意見や苦情に対応しましたが、苦情はありませんでした。

- 「みんなの声」と名付けた保護者の意見箱を設置していますが、活用されませんでした。
- 保護者の必要とする情報は、丁寧に繰り返し伝える工夫を心掛けるとともに、クラスでのトラブルや事故については、クラスのみではなく園長や主任がさらに対応し、クラスと保護者の信頼関係を築くようにしました。

⑪ リスクマネジメント

- 大田区保育施設の感染症対策として、①日常の感染症対策 ②事業及び行事について ③研修、会議の対応 ④新型コロナウイルス感染症についての理解などの文書を参考にし、職員で確認していきました。
- 大田区で実施している年1回の施設点検（建築、設備）と共に、各クラスの環境の安全点検を月1回実施し、職員のリスクマネジメントに対する意識を高めていきました。
- 防災計画に基づいた避難・消火訓練を月1回実施し、災害などの非常事態の発生に備えて保護者への連絡方法（一斉送信メールの活用など）職員の体制、避難経路などマニュアルの見直し確認を行い職員に周知しました。また、食糧や救急用品など備蓄品についての点検を月に一度あるいは必要に応じて実施し、備蓄品を年長、年中のみ個人用を購入していただきそれを非常時に各自持ち避難する訓練を実施しました。
- 職員の救急救命2級取得を予定していましたが、消防署での研修が中止となり、1年間の猶予期間が設けられました。
- 職員と保護者も含めた、防災の研修を実施し意識を高めるとともに、災害時の緊急連絡体制「メルポコ」への登録依頼をしました。
- 日常の小さな事故の記録を検証し、職員の安全保育への意識を向上させ事故や怪我の減少に努め保育のあり方をチェックしました。
- 食の安全の視点から給食委託業者と、アレルギー事故の防止や異物混入、給食提供方法などについて確認、見直を毎月実施しました。また衛生面や味などについて事業者と連携を取りながら給食提供を行うとともに、誤嚥防止のために大田区より食材の調理方法や提供方法の見直しがありました。

⑫ その他

- 幼児手洗い場の周りの黒ずみ、床のシートの破損があり工事を行いました。
224万
- 職員の事務の効率化を考えてWi-Fi工事（リース契約）を行いました。電波が思うように届かず、何度かやり直しをしながら設置ができました。
50万円
- 調理のスチコンの設置がようやくできて、食事の時間短縮や食事の幅が広がりました。
- 大田区の指導検査を受け、運営管理と保育について指摘を受けました。指摘を受けた内容は速やかに改善し、大田区に改善報告を提出し受理されました。

西糀谷しろはと保育園

令和2年度年間行事

月	行事	保護者参加行事	地域活動
4月	進級式 1日(水) 入園日 1日(水)	入園日 1日(水) 新入児オリエンテーション (1・2日)	
5月	こどもの日の集い8日(金)(3・4・5歳児) エール体育遊び20(水)オンライン) 健康診断18(月)25(月)		
6月			
7月	七夕夏祭り パネルシアター17日(金) 歯科検診9日(木) 造形遊び28日(火)		
8月	造形遊び25日(火)		
9月	防災の日1日(火) パネルシアター4日(金) 木育活動10日(木) 造形遊び29日(火)	引取り訓練1日(火) 運動会26日(土) (3歳児ホールで実施)	
10月	エール体育遊び13日(火) 園外保育・・・中止 造形遊び27日(火)	運動会3日(土)4・5歳児 園庭にてクラス入れ替えで 実施	
11月	木育活動5日(木) いもほり・・・裏庭にて 歯科検診19日(木) 造形遊び24日(火) 内科健診16日(月)		
12月	生活発表会 5日(土) (くじら、とびうお組) 造形遊び17日(木)交通安全指導8日(火) 餅つき会24日(木)	くじら組・とびうお保護者会 生活発表会5日(土)	
1月	新年子ども会 8日(金) パネルシアター 22日(金) トムテ 25日(月)	おたまじゃくし・ かに・かえる組オンライン保 護者会	
2月	節分3日(水) エールの運動遊び12日(金)		
3月	ひなまつり3日(水)新入児健診2日(火) 卒園式13日(土) パネルシアター 19日(金)26日(金)	卒園式13日(土) 新入児健康診断2日(火)	

※ 毎月・・・計測 避難訓練 0歳児健診の実施 ※その他 歯みがき指導中止

※ ボランティアの活用(パネルシアター) ※木育活動

※ 造形遊び(月1回)・体育遊び(週1回後半)・英語で遊ぼう(週1回後半)実施